

発行所  
**石川県保険医協会**  
 〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号  
 太陽生命金沢ビル8階  
 ☎(076)222-5373 番 FAX(076)231-5156 番  
 URL <http://ishikawahokeni.jp/>  
 編集部E-mail ; [iskw\\_sugino@doc-net.or.jp](mailto:iskw_sugino@doc-net.or.jp)  
 発行人 西田直巳  
 印刷所 ソノタ印刷株式会社  
 購読料 1年間 5,000円(〒共)  
 (\*本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

## 主な記事

- 2面 医科のためのインプラント
  - 3面 定期総会フロアからの意見
  - 4面 在宅医訪問
  - 5面 総会記念講演アンケート集計
  - 6面 ザ・公衆衛生
  - 7面 金沢市立病院を訪問
  - 9面 定期総会記念講演・要旨
- 今日の会員数 / 1,029人(医科731人・歯科298人)



記念講演は矢ヶ崎克馬氏(琉球大学名誉教授)をお招きし、「放射線の健康影響」をテーマに開かれた【関連記事9面】

## 第38回定期総会 活動方針・予算案などすべて承認され 2012年度がスタート

理事 山本 司(野々市市・歯科)

雪の舞い散る二月十九日(日)、ホテル金沢で、琉球大学の矢ヶ崎克馬名誉教授による「放射線の健康影響」をテーマにした記念講演【関連記事五面・九面】の後、石川県保険医協会第三十八回定期総会が行われた。



活動報告・方針(案)を提案する喜多徹副会長



開会あいさつに立つ西田直巳会長



決算・予算の提案をする三宅靖理事

初めに昨年の三月十一日に発生した東日本大震災により亡くなられた多くの方々と、前回総会からの物故会員お二人に対して、黙祷が行われた。



会計監査報告をする申東奎監事



総会アピールを提案する大平政樹副会長



会則の一部改正について提案する平田米里副会長



議長に選任された村田祐一先生



総会司会を務めた山本司理事

続いて行われた西田直巳会長のあいさつの中で、石川県保険医協会は今年も先頭に立って、保険医の経営、生活と権利を守り、国民医療の向上のために奮闘していく決意を表明された。

総会議長には、金沢市寺中町でむらた小児科医院を開業されている村田祐一会員が選出された。二〇一一年度の活動報告および二〇一二年度の活動方針案は喜多徹副会長より提案され、二〇一一年度決算報告および二〇一二年度予算案は、三宅靖理事より提案された。会計監査報告は、申東奎監事より行われた。

フロアからの発言で、以下のごことが宣言された。

①社会保険と税の一体改革に名を借りた弱者切り捨ての消費税増税を撤回すること。②医療費総枠を拡大し、医療、歯科、病院・診療所ともに適切な医療水準を保てるように診療報酬を引き上げること。③窓口負担を大幅に軽減すること。④国民皆保険制度を崩壊させるTPP参加を直ちに中止すること。⑤脱原発を基本とし、エネルギー政策を根本的に転換すること。

この定期総会におけるすべての議案が、出席者全員の賛意をもって承認され、石川県保険医協会の二〇一二年度がスタートした。

### 予告 医科新点数運用説明会

<p><b>金沢会場</b></p> <p>とき 2012年4月26日(木) 午後7時半~9時45分</p> <p>ところ ホテル金沢 2階ダイヤモンド</p>	<p><b>七尾会場</b></p> <p>とき 2012年4月29日(日) 午前10時~12時半</p> <p>ところ 七尾美術館アートホール</p>
--	--

※詳しくは後日お送りする案内チラシをご覧ください。

<p><b>医科新点数介護報酬検討会</b></p> <p><b>金沢会場</b></p> <p>とき 2012年3月25日(日) 午前10時~12時半</p> <p>ところ 石川県地場産業振興センター 本館・大ホール</p>	<p><b>歯科新点数検討会</b></p> <p><b>七尾会場</b></p> <p>とき 2012年3月22日(木) 午後7時~9時半</p> <p>ところ ホテル金沢 2階ダイヤモンド</p>
---	--

※申し込みは締め切りました。人数の変更は必ずお知らせ下さい。

### 医心凡語

厚労省の集計によれば、昨年の七月時点で生活保護受給者数が二百五十万人を超え、過去最高を更新したという。われわれ歯科医師も、生活保護者の歯科受診が年々多くなったと感じる。一般に受給者の多くは未処置歯数を多数有する故に、大がかりで長期の治療を必要とするケースが多い。背景には、生活保護受給者は医療費負担がないものの、それまでの間に必要に応じて受診ができる機会が保障されていない現実があるためではないだろうか▼一方、北欧では、未成年者の医療費が無料になっている国がある。しかも、学校歯科検診で虫歯が発見されると、授業に優先して歯科治療を受けることが義務づけられるほどの徹底ぶりという。初期治療の推進とともに、発生予防にも重点を置いていくのである。結果は言うまでもなく、北欧の該当国におけるカリエスフリー率率は、日本よりはるかに良い。健康度が高いのである▼日本でも、この辺で医療制度を大きく変える時期ではないだろうか。生活保護となつてから医療費負担をなくす政策では、とても不十分である。第一次予防に財源を割き、同時に、医療費の個人負担の軽減を推進することで受診抑制を解き放つて、国民の健康度をより高めることができるはずである。結果として、不必要な医療費も縮小されるのではないだろうか。

第二十二回なんでも学術! なんでも回答? よろず勉強会

医科のためのインプラントのすべて

歴史から手術のリスクまで

理事 三宅 靖 (金沢市・内科)

第二十二回の「なんでも学術! なんでも回答?」

近江町交流センター第一研究室で開催されました。この勉強会では「歯科から医科への発信」をひとつの柱として、シリーズ化しています。

そこで今回は、やわたデンタルクリニック(小松市)院長の中新敏彦先生に「インプラント講座」という演題で講師をお願いしました。先進歯科医療の専門家による医科を意識した講演が期待できるまたとない機会とあって、当日は猛吹雪に見舞われたにもかかわらず、十七人の参加がありました。



講師の中新敏彦先生

ご講演の内容も、期待にたがわず大変に興味深いものでした。インプラントの歴史に始まり、インプラントと義歯の比較、現在の普及状況、認定医制度、ご自身の治療成績、そしてインプラント手術のリスクなど、盛りだくさんの内容をとでも分かりやすくお話しいただきました。インプラントの成功のためには、徹底した口腔内清掃の指導が不可欠であると重ねておっしゃっていました。また、リスクに関しては、実際にオトガイ下動脈を損傷し死亡に至った症例の紹介がありました。リスク回避には、局所解剖を熟知し、確実な診断を行い、十分な

また、医科との関連では、骨粗鬆症に対するビスフォスホネート系薬剤投与との関連が述べられました。現在は汎用されている薬剤ですが、この薬剤の投与下でインプラントを行うと、成功率の低下はもとより、顎骨壊死の危険が高くなるため、基本的にはこのような場合にはインプラントは推奨されないとのことでした。医科としてもビスフォスホネートを用いるときは、その患者さんが将来的に歯科の治療を受ける際には、このようなリスクがあることを説明すべきであるとのお話をいただき、大いに反省させられました。今後よろず勉強会では、歯科からの発信を定期的に続けていく予定です。医科にとっても、大変に有益な内容です。さらに多くの会員の先生方のご参加をお待ちしております。

きょうされんから制度改善の報告

当事者の訴えによる運動実り

加賀市の移動支援事業が改善

二〇一一年七月十六日、きょうされん(旧称/共同作業所全国連絡会)石川支部設立総会における障害のある当事者の訴えが発端となり、移動支援事業の対象者を「当該自治体に居住地を有するもの」に限定していた加賀市の施策が改善された。

現在、福井県あわら市のケアホームに入所しているAさんの入所前の居住地は、加賀市である。加賀市の地域生活支援事業実施要綱では、移動支援事業等の対象者を「①障害者(児)で当該自治体に居住地を有するもの②障害者自立支援法に規定する特定施設入所障害者で、入所に有した居住地(これを「住所地特例地」という)が当該自治

体であるもの」と定めているが、実際に運用しているのは①のみである。「私も移動支援を使ってみると同じように好きなところに行きたい」というAさんからの訴えにもとづき、きょうされん石川支部では設立総会に出席されていた石川県障害保健福祉課長に県下十九市町の移動支援事業の実態調査を依頼し、石川県保険医協会でも「福祉マップ」改訂第八版の自治体施策アンケート項目に移動支援事業を追加した。この二つの調査により、加賀市だけが対象者を不当に制限していることが明らかとなった。さらに石川県社会保険推進協議会では、昨年十一月の自治体キャラバンの際に加賀市障害福祉課長に当事者の願いを伝えて速やかな改善を促した。



このような運動の広がりにより、加賀市は本年一月よりケアホームなどの入所者(住所地特例地)を含むも移動支援事業の対象者とするよう運用改善を図った。「運動は裏切らない」、ぶれずに、こびずに、そしてあきらめずに、当該自治体に粘り強く働きかけたことが成果に結びついた。(きょうされん賛助会員 神田順一)

囲碁解答
黒1のハネが好手。白2には黒3から5で黒生きます。黒1で白なら黒3白2黒5で同じく黒生きます。黒3で白は白4黒3白5で黒死す。
(問題は10面にあります)

将棋解答
1一歩成り同玉 2二金同飛 3三桂 4一玉 3一金まで7手詰。
(解説) 初手に黒3二金と飛車を取る手は後が続きます。黒1一歩成りから黒1二金と捨てるのが好手順で、黒2三桂でピッタリ。
(問題は10面にあります)

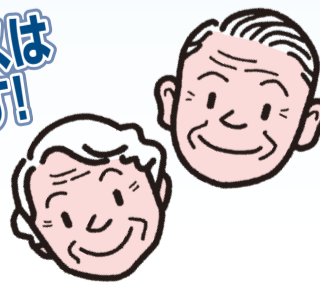
「数独」の解答
6+4で、答えは「10」
(問題10面)

普及開始! 保険医年金

前半期受付期間 4月1日~5月25日
加入日 2012年9月1日
予定利率 1.258%(2012年3月1日現在)

保険医年金の新規加入・増口をお考えの先生は、協会事務局までお問い合わせください。パンフレット等を送付させていただきます。

加入チャンスは年2回です!



福祉マップ 改訂第8版

会員には、1冊無料でお送りしました。(追加は1冊1,500円です)

- 2011年12月26日発行
●A4判
●349頁
●1冊1,500円(税込み)
●石川県保険医協会



# 新刊案内

## 誰でも安心できる医療保障へ 皆保険50年目の岐路

二宮厚美・福祉国家構想研究会 編  
大月書店

推薦者 平田 米里 (野々海市・歯科)

本書(本シリーズ)の発刊は、現在進行の構造改革政治を止めさせ、新たな福祉国家建設へと転換させることを目的としたものである。ここでいう福祉国家とは、雇用と社会保障によって生活保障に責任をもつ国家と定義されるが、現代の新自由主義型国家が攻撃目標とするのも同じ雇用と社会保障であることは言うまでもない。

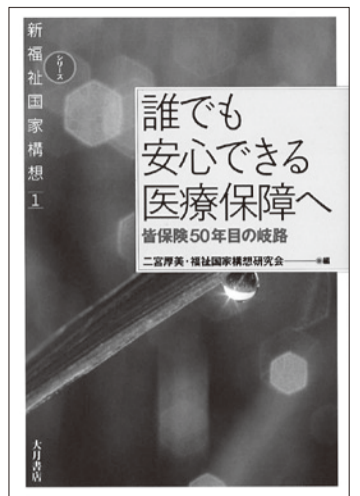
しかし「生活保障に責任をもつ」といっても項目が多岐にわたるため、福祉国家構想研究会では新自由主義型国家に対抗するため6つの柱を掲げ、その柱に呼応する領域に研究班(活動家と研究者)を編成し、それぞれの成果を出版物としてシリーズ発行する予定である。

この本(シリーズ1)は、6つの柱の多くに関係する医療保障を主なテーマとして論述している。本文は簡潔な文章となっているが、中身の大変濃い文章で埋め尽くされている。

序章は、まず医療保障と現物給付原則や医療における必要充足の原則といういわば基礎中の基礎から始まる。次いで、国が加入を強制する医療保険と市場原理をベースにした民間保険の本質的な差異に関して保険原理と人権原理との対抗関係で論じ、現状は保険原理が国民皆保険を形骸化させる圧力となっていると解説する。

第一章は横山壽一氏の手記による民主党政権と医療政策の新自由主義化である。その中でも、現物給付から現金給付への転換のパートは、釈迦に説法ではあるが、医療保険の持つ本質を明快に解説する内容となっていて保険医を勇気づける。また、社会保障と税の一体改革と医療政策に関するパートでは民主党政権のウソを一刀両断に切り捨て去りもしている。一部を紹介しよう。「一般に、社会保障の財源確保のために消費税を求める論議であれば、増税と引き換えに社会保障の拡充が約束されると国民は理解する。ところが、今回の一体改革が求めているのは、増税プラス社会保障の削減である。医療もその例外ではない・・・」

そのほか、珠玉の言葉がいたるところにちりばめられ、飽くことがない。もっと詳細を知りたいと思えば読むしかあるまい。ともかく200ページ強で1,900円は知的な好奇心を満たして余りある安い買い物と思う。



# 持論

地域連携パスが花盛りである。病院から回復期リハ、在宅施設への継続性のある医療提供は、地域住民にとって悲願であらう。その流れに沿って、嚥下障害患者に対して病院で行われた胃瘻の管理が、後方施設において切れ目なく行われることは、本来なら歓迎されるはずである。

しかし、現状はそうではない。栄養を入れて体力を快復するという名目でつくられた胃瘻が、あまり喜ばれてはいないようなのだ。その背景として、在宅にせよ、施設にせよ、送り込まれてくる胃瘻患者の廃用が進み過ぎて印象がある。「再び食

べるための胃瘻」と言われて胃瘻手術の説明を受けていたとしても、実際にはリハをやるにも、栄養管理をやるにも、きびしい状態なのではないだろうか。

として考えてみよう。たとえば、病院で摂食嚥下訓練を十分せず胃瘻をするから、あるいは施設入所の待機中に廃用が進むのか、はたまた開業医が通院患者

## 摂食嚥下困難、栄養障害、廃用を防げ

## 「口から食べる」と「口の維持のため 医科・歯科、コ・メディカル一体で

つまり、問題は廃用であり、廃用がいつどこで進むのかを考へなくてはならない。誰かの責任追及をしようというわけではない。ただ、私たち地域の問題

や在宅患者の体重減少や嚥下困難に気がつかない間に廃用が進んでいるのか等々、病院や診療所や施設を問わず、地域のすべての医師やコ・メディカルが一

度真剣に意見交換する場を設けるべき課題である。

そして、摂食嚥下困難と栄養障害、それと関連する廃用を高齢化社会の一大事と捉えるなら、病気発症後の栄養サポートチーム(NST)活動と、病気発症前の予防的介入は車の両輪であり、両者において普遍的に重要なものは、とりもなおさず「口から食べる」ということである。人体の活動でもっとも複雑系といわれる「口から食べる」ということを維持することは、廃用防止の最高の取り組みであり、多職種連携の真骨頂である。

医科歯科共同体である保険医協会に、期待される役割が見えてくるのではないだろうか。

# 第38回定期総会

## フロアから出された意見

第38回定期総会では、フロアから下記の発言と、執行部からの答弁がありました。

### 【2012年度活動方針案について】

- 社会保障について学び続けることが重要である。社会保障セミナーの開催が必要ではないか。  
→ 社会保障セミナーについては、2012年度活動方針案に盛り込まれていることを大川義弘理事が答弁。参加者確保などの課題を踏まえ、2012年度に開催できるよう取り組む。
- 活動方針案をみると、運動が多岐にわたっている。たこつぱ的な運動すなわち、ひとつひとつを追いかけていく活動のみならず、福祉国家をめざす全体的な活動も必要ではないか。  
→ 他団体などと連携し、金沢大学の井上英夫教授らがまとめられた新福祉国家の理念の普及に努めていきたい。具体化については理事会にて検討させていただきたい、と喜多徹副会長が答弁。保険医協会単独ではなく、社保協など他団体と共に運動を進めていきたい旨を西田直巳会長が述べた。

### 【その他】

- 物故会員は現役の会員が亡くなった場合に総会議案書に掲載しているが、元役員などが亡くなった場合も甲意を示した方がよいのではないか。  
→ 理事会にて検討した結果、退会された元役員については、弔電を出させて頂いた方に関して、総会にて紹介し黙祷を捧げさせていただくこととなった。

二月七日、久しぶりの?当番議長。総会直前とあって、議論することは盛りだくさん。協会からの厚労省へのパブコメが厚労省のHPに数多く掲載され、「さすが工藤事務局長」と盛り上がること甚だし。

## 第18回 理事会点描 総会直前の理事会 議事盛りだくさん

(2月7日・12人出席)

くるお金は増えないのに、会員のための協会行事(講習会、説明会)は右肩上がり。とりあえず緊縮財政に耐えるつきやないわけでは。協会新聞では、今話題の「社会保障・税一体改革」を会員にもう少し詳しく知ってほしい? : : : 頑張って、勉強部屋を作ります。えう!ご期待。  
【大平 記】



ご自身が熱心に取り組まれている訪問歯科診療について詳しく説明されるわたや歯科医院の綿谷晃院長

### 在宅医訪問⑤



## 地域に根ざした、多職種共同の在宅医療

わたや歯科医院 綿谷 晃先生(金沢市・歯科)

取材 医療福祉部取材班

第五回目となる在宅医訪問は、訪問歯科診療を十五、六年前より行っている、わたや歯科医院の綿谷晃先生にお話し、二月六日に訪問しました。今までの取材班は医科の理事と事務局員でしたが、今回はそれでは心もとないので、歯科の平田米里副会長(野々市市)と歯科担当の小野榮子事務局員にも参加してもらいました。

医科は、歯科のことはあまり知らない(素人レベル)ので、まず訪問歯科診療の実際をお聞きしました。「木曜日の午後には訪問診療の時間を取っています。が、緊急で義歯の調整が必要な場合などは平日の夜とか土曜日にも対応しています」「訪問先は、老健や特養、有料老人ホームなどの高齢者施設が多く、自宅は少ないです」「高齢者施設

のスタッフが、義歯の不適合に気付いたりして依頼されます」「一般的に、訪問歯科診療の対象は、義歯の調整、義歯の作製、抜歯などです。基本的にクリニックで実施していることは、訪問でも可能ですが、埋伏歯の抜歯などは訪問では困難です」「たとえば義歯の作製の場合は、訪問診療は週に一回で四回ほどで終了します。訪問歯科診療料含めて自己負担は一割で約一万円です」「義歯が入ると食べる機能はおおよそ六割ほど回復します」「義歯の寿命は三、四年くらいです」「義歯作成後は、半年たたないと新たな義歯を保障で作製できません」「義歯を作製しても、今までの口腔環境と異なった感覚が強いと患者満足度は低い場



訪問歯科診療に関するさまざまな話題で充実した取材の様子

一般歯科・小児歯科・口腔外科

# わたや歯科医院

院長 綿谷 晃

診療時間

月・火・水・金	午前 9:00~12:00	午後 2:00~6:00
木	午前 9:00~12:00	午後 休診
土	午前 9:00~12:00	午後 1:00~3:00

金沢市大森2丁目13 TEL245-5849

訪問 歯科診療(住診) しています

わたや歯科医院入り口のキャンバンの下には訪問歯科診療の案内が掲示されている

合があり、ソフトランディングよろしく、離乳食から初めて徐々に好きなものへと慣らすように指導しています」「訪問して診療にかかる時間は五分のときもあれば、一時間近くかかることもあります」

さらに綿谷先生は、「訪問歯科に行くときには、スタッフ一人と機材を四箱持って出かけます。機材の準備と帰ってきてからの後始末は、それなりに時間がかかります」と付け加えられました。実際に機材を見せていただくと、かなり重量感のあるものでした。医科よりは、かなり重裝備です。訪問歯科診療で一番重いのはポータブルユニットです。二十五キロもありますので、とても腰に悪いです。訪問歯科の先生も腰に気をつけてほしい(重い)ました。医科では、通常の往診靴や点滴、処置用などで靴が三つくらいになることもありますが、重くはありません。「訪問歯科診療は、月一、二件以下では効率が悪く、それ以上だと、かかりきりになります」など、訪問歯科診療に関わる具体的な話を聞きました。

最近の歯科診療では、「医療費の窓口の自己負担が、徐々に上がってくる中で、患者数が減少してきたり、来院の回数が多くなると、どれだけの必要なのかなど患者さんから聞かれることも多く、負担に伴う受診抑制



訪問歯科診療時に持参する4箱の機材

医科へは、「診ている患者さんの摂食量が減少してきたら、まず歯は大丈夫か」と思いを巡らせ、歯科診療を依頼して欲しい」「胃ろうを造設した方の口腔内はとても汚く、口から食べなくても口腔ケアは欠かせません」

あと、医科として「へい」という注文を受けました。訪問歯科診療料算定の二十分、そんなこともあるんですか」という話も聞きました。義歯を作製し、噛む力が増すと脳血流が増加して、脳血管に負荷がかかり脳血管障害を来すこともあるという事です。医科は、歯科のことももっともって知らなくてはならないと思われました。

超高齢社会の中で、食べられる環境を整えることが訪問歯科の最終目標だといふことが、保団連発行の「二〇一〇年版・今日からできる歯科訪問診療の手引き」によりよい介護社会のために、書かれています。医科歯科の連携で、その目標実現に向けて、保険医協会としても役割を果たしていくことが求められていることを実感し取材を終えました。

## 平和でないと生きられない ピースウォークにご参加を

アメリカ貿易センタービルに、飛行機が衝突した911事件。その後、イラクが核兵器を持っているからとの理由で始まったイラク戦争。国家の暴力、戦争でなく、話し合いによる解決方法もあることをアピールしようと始まったのがピースウォーク。金沢では幸いなことに毎年ピースウォークが行われている。10年経ってイラクへの攻撃が間違いと判明した。亡くなった老若男女の命は戻らない。権力者たちに反省は無い。私たち国民がすべきことは、平和をアピールすること。ぜひ、ご参加ください。



帯刀 裕之(小松市・内科)

開催日時 3月20日(火・祝)  
13:30~  
石川県中央公園(金沢市広坂)に  
集合 集会  
14:30~ ウォークスタート

午前中には下記にもご参加を!

ピースウォーク金沢2012特別講演会

### 子どもを放射能から守れ

現地ルポ チェルノブイリ・イラク・福島  
フォトジャーナリスト 森住卓 講演会

日時 2012年3月20日(火・祝)  
10:30~12:30 (開場10:00)

会場 石川県教育会館 3階ホール

チケット 前売り 1,000円  
当日 1,500円(高校生以下無料)

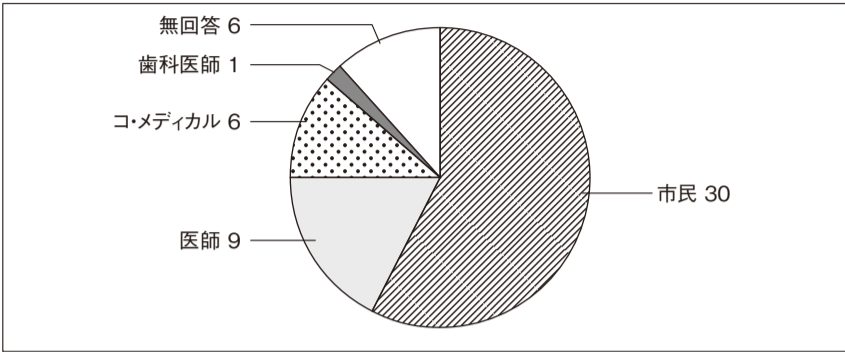
主催/ピースウォーク金沢実行委員会 問合せ/earthdayishikawa@yahoo.co.jp

# 第38回定期総会 記念講演 参加者アンケート 集計

●日時/2012年2月19日 午前10時～正午 ●場所/ホテル金沢 ●テーマ/「放射線の健康影響」 ●講師/矢ヶ崎克馬氏(琉球大学名誉教授)

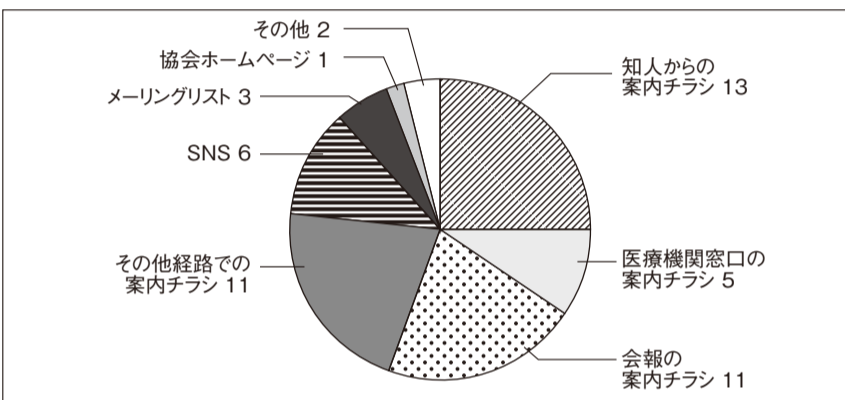
(当日は140人の方々にお越しいただき、52人の方から貴重なご意見をいただきました。下記、ご紹介します【講演要旨は9面】)

## 1. 参加者について



※医師、歯科医師、コ・メディカル計16人のうち、会員医療機関からの参加は13人  
※コ・メディカル=看護師3人、MSW、助産師、薬剤師

## 2. 講演会を知ったきっかけ



※SNS…Facebook, twitterなど

## 3. 講演会の感想

- 内部被曝など放射線による電離障害について、きちっと説明していただいた。これまでの公害・労災と同様に、立場により「科学的」見解は異なる状況になっている。国や企業に支援された科学者の見解の方が影響力は強いが、インターネットはこの格差を少し解消しつつある。(医師)
- 講師の専門がどこなのか、ちょっと分かりづらかったです。(薬剤師)
- 時間が足りなくて残念だった。命からみた放射能汚染のおそれがよく分かった。現在の政策を不信に思っていたが、先生のお話を聞いて自分が懸念していることを確信できた。(市民)
- 福島県はものすごい勢いで安全キャンペーンが展開されている。これに反することを言うと「精神病」とまで言われることも。御用学者と公開討論会など、公の場での議論ができないものではないでしょうか。(市民)
- とにかく内部被曝を避けることが科学的に正しいという先生の言葉に身が引き締まりました。テレビでは情報がコントロールされていることを実感しました。(主婦)
- 今まで漠然としか知識のなかった内部被曝についてとても分かりやすいお話を聞くことができました。いただいた資料や先生の本をよく読んで正しい知識を身につけ、一人ひとりが防護していけるようになりたいと思います。(会社員)
- 分子の説明は難しかったですが、内部被曝隠し、食の安全、汚染がれきなどの問題の話が興味深かったです。特に輪島で検討されているがれき処理(受け入れ)についてはもっと話を聞いてみたいし、輪島市民に向けての講演もしてほしいです。(看護師)
- “内部被曝”の健康被害のとらえ方は、科学者の“立場”により異なるということを理解した。(医師)
- 医学的・疫学的な検討が必要な面もありそうと思われた(甲状腺検査例など)。(医師)
- 福島の子どもの体のフォローアップは必須ですが、福島以外の汚染地域の子どもの体が見逃されていることが大変心配です。汚染値でフォローすべきでしょう。(主婦)
- 先生の話聞いて、あまりに私たちが無知だと分かりました。政府は私たち庶民にもっと詳しく説明すべきだと思います。(市民)
- 夫が東京におり鼻血を出すなどの体調不良があり、三歳の子とも戻っていいものか、ずっと迷ってました。今日の講演を聞くことができて、やっぱりまだまだ危機感が必要ということが分かり、感謝しています。もっともっと内部被曝の実態を、一般の人たちが知る機会が増えていくと良いと思います。(主婦)
- 目からうろこの感じ。非常に分かりやすく勉強になりました。99対1を市民の力で1対1にもっていくことを目指したいものです。(市民)
- もう30分話が聞きたかった。肝心な部分が時間がなく聞けなかったことが残念。(市民)
- 今、垂れ流されている情報を、始めに話された被ばく隠しの科学と、市民の科学の話でとてもすっきり整理できました。そして核をめぐる構造と米軍基地をめぐる

構造が同じであることも思いました。ウソとゴマカシで塗り固め、科学を都合良く使って棄民にされていると思います。だまされない市民を育てていない教育、情報に絶望しますが、真実を求める人がいることを信じたいと思いました。(市民)

- もやもやしていた情報が、かなりすっきりしました。福島支援と健康管理を両立していきたいですね。(無回答)
- 少しくらいと思ったこともありましたが、1ベクレルでもこんなに恐ろしいものだとよく分かりました。(主婦)
- 学問の成果を披露するというよりも「黙っておれない!」という立場で語るというご発言に心を揺さぶられました。明快なお話よく分かりました。しかし速くて追いつけなかったところも少々。(無回答)
- 真実を客観的データをもとに伝えることの重要性を痛感しました。放射線による分子切断のおそろしさを理解できました。(教員)
- 内部被曝を隠そうとする政府の腹がよく分かりました。だまされずに今日話を人に広めたいです。(市民)
- 内部被曝を科学の目でとらえている科学者が0.1%であることが大きな驚きで、その中で自分の主張を貫いていらっしゃる矢ヶ崎先生の生き方を知り、大いに励まされました。大きな壁に立ち向かっていらっしゃる人たちで、健康が守られているんだと思いました。みんなでより大きな力にできればと思います。(市民)
- 内部被曝の危険を学べてよかった。内部被曝に対してどんなごまかし方をするのか理解できた。石川の食を守り、輪島のがれき受け入れはしてはいけないと思う。(市民)

## 4. 今後取り上げてほしいテーマ

※複数の方から回答があったテーマ

### 【食品(学校給食)の放射能汚染…5人】

- 実際に汚染された国で、どのように子どもを守っているのか。どこまでの汚染具合で避難が必要か?外遊びなど日常生活での注意。食の工夫。原発について。(主婦)
- 石川県にも汚染食品は流通しています。石川の子どもたちを守るために、まず学校給食の内容を開示。その上で放射線値の測定をすべきです。石川県知事はボヤッとしすぎです。ぜひ、保険医協会からも積極的な働きかけをしていただきたいです。(主婦)
- 石川県の学校給食の安全性が確保されているとは考えにくい。保険医協会として、県や金沢市の教育委員会に働きかけることはできないか。ほとんどの医師が被ばくに関して無関心であるので、このような企画を続けているのは素晴らしいと思う。(医師)
- 食物の流通経路(汚染食品について)。(会社員)
- 子どもたちの被ばくに関して協会としての活動をしていただきたい。たとえば給食について。(無回答)

### 【がれき受け入れ(特に輪島市)について…2人】

- 輪島市のがれき受け入れが決定するとしたら、それによって生じる石川県のデメリットは?(個人的には受け入れ反対です)。(主婦)
- 輪島市のがれき受け入れが話題ですね。この問題をぜひ取り上げて下さい。(主婦)

### 【放射能から体(健康)を守るためには…2人】

- 放射線に負けない免疫力アップは可能か。(市民)
- 被ばくから体を(特に子どもを)守る方法など。(市民)

### 【その他】

- 意見が別れるテーマを取り上げ、意見の異なる科学者を呼んで討議するような企画ができないか。あるいは石川県内で活動している小児科有志のような地元の方々によるシンポジウムなどができないだろうか。(医師)
- 山田真医師(小児科)の招へい。(薬剤師)
- NHKのアーカイブスで、日本に原発が輸入されたときのいきさつがまとめられていた。参考になるのではないか。(助産師)
- 医療と政治の接点など。(市民)
- 放射能について、まだまだ一般の人の知識がないと思うので、この活動を続けて欲しいです。また、多くの人知れるように色々な方法でアナウンスしていただきたいです。(会社員)
- いろいろな角度からの汚染実態を講演して欲しい。(医師)
- 電磁波の健康への害。(主婦)
- 放射線そのものを詳しく知りたい。(弁護士)
- とてもとても良かった。被ばくの体外への排出についても聞きたかった。(会社員)
- 権力におもねるのではなく、常に弱者、命の立場から発信して欲しい。(地方公務員)
- 事故以前、敦賀市の小児科医の話では、他地域に比べ明らかに敦賀市周辺の小児がんの発生率が高いとのことでした。しかしこのような事実は調査されているのかわからないか。一般には知られていません。真実を教えてください。(歯科医師)
- (石川の)反原発のブログを立ち上げてはどうか。(医師)
- 福島の今。(無回答)
- 研究会(勉強会)を開催して欲しいです。(看護師)
- まだ終わっていない福島原発関連のこと、石川県に住んでいて何に取り組み注意すればいいのかをテーマにしたものを希望。(市民)

# 戦災公衆衛生

「十五年戦争」と公衆衛生(その3) 助 昭二(金沢市・内科)

## 「動員」された医師たち、被災した病院・診療所、そして締め出された入院患者

\*「医師会では少壮有為の会員が続々と徴用せられ…」

「日華事変が長引くにつれ、国内では次第に戦時体制がとられはじめた。…昭和十六年一月医師翼賛会、次いで医師会隣保班が結成せられ、…医薬品、医療材料等の配給はすべて隣保班を通じておこなわれるようになった。…国民医療法は公布(昭和十七年二月二十五日)され従来の医師法は消滅し、『医療団』と称し、…県医師会から飛行機一台(三十万円)を献納することとなり、…昭和十九年、戦争は愈々酷くなり、白鷺通りで防空救護訓練をおこなった。…医師会では少壮有為の会員が続々と徴用せられ、…当支部における会員戦死者(昭和十九年四月〜二十年三月)二名、金沢医大病理学教授中村八太郎氏は栄養失調のため死去し、…」

**\*戦争末期、開業医の約6〜7割が徴兵、徴用か?**  
当時、開業医もたくさん戦場に「動員」されたと推測できるが、正確な数字はあまりない。表(一)は滋賀県医師会七十年史(2)より作成したものであるが、一九四二年から戦争が進むにつれて、野洲郡の開業医が次第に戦地に動員され、一九四五年敗戦のころには三割しか開業していなかったことが分かる。したがって、約七割の戦地に引きずり出された医師も大変であったろうが、無医地区となった地域の人々も病気が

「医師会では少壮有為の会員が続々と徴用せられ…」

長崎市医師会の記録(3)を見ると、昭和十七年の会員数は二百一人である。ところが昭和二十年七月の改正救護所登録医師数は七十七名となっている。広島市医師会の記録を見ると、当時の開業医は全員「救護所」(都市被災に備えた街中の指定救護施設)に登録の義務があったと記載されているから、これから推測すると終戦の年は長崎市の開業医師は、この七十七人前後であったろうと推測できる。従ってこの年、昭和二十年には長崎市医師会登録医師の約六〇%が「徴兵、徴用」されていたと思われる。この数字「戦争末期の開業率」は、滋賀県野洲郡のそれとほぼ同じである。

表(一) 滋賀県野洲郡の医師会会員の応召状況

(1944年の医師会会員数は18名)

年度	開業会員数	開業率	応召中の会員数
1942年頃	18名中12名	66%	6名
1943年頃	10名	55%	8名
1944年頃	8名	44%	10名
1945年頃	6名	33%	12名

(「滋賀県医師会七十年史」、462〜464頁より作成)

[注]

- ・会員個人の召集期間(推定)をグラフにし、それぞれの時期の開業会員数、率を推定した
- ・「日支事変」および「大東亜戦争」の応召者氏名は合計で17名(不明1名、職業軍医1名)
- ・応召日は1939年4月から45年4月とばらばら(不明1名、職業軍医1名)
- ・除隊日も1942年1月から47年2月とばらばら(不明1名、職業軍医1名)

表(二) 都道府県の戦災罹災した病院数及びその収容人数

都道府県名	戦災罹災病院	
	数合計	収容定員数
北海道	2	127
青森	4	320
岩手	5	225
宮城	9	650
秋田	0	0
山形	0	0
福島	2	130
茨城	22	940
栃木	12	770
群馬	7	315
埼玉	3	110
千葉	31	1240
東京都	257	16705
神奈川県	52	1860
新潟	7	245
富山	19	832
石川	0	0
福井	14	850
山梨	7	292
長野	0	0
岐阜	16	554
静岡県	41	1349
愛知県	66	2970
三重	10	450
滋賀	0	0
京都	0	0
大阪	71	4615
兵庫県	88	4400
奈良	0	0
和歌山	14	658
鳥取	0	0
岡山	0	0
広島	24	1200
山口	39	744
徳島	17	485
香川県	16	654
愛媛	21	592
高松	23	840
福岡	27	675
佐賀	55	2750
長門	2	43
熊本	14	1020
大分	18	1332
宮崎	11	680
鹿児島	6	350
沖縄	29	1061
不明	不明	不明
合計	1,066	53,420

(厚生省「衛生年報」・昭和21年度版より作成)

\*アメリカ軍の都市爆撃で被災した病院、診療所

「年明けと共に敵機の空襲は愈々本格的となり、東京都をはじめ全国各地に於いて悲惨を極めた。今度は金沢の番である。…強制疎開がはじめられたのが八月五日ごろからである。…不幸にして会員中強制疎開の厄にあつたのが中瀬真亮、茶谷良の両氏で、気の毒の至りであつた。…」

表(三) 都道府県別戦災被災医科診療所

(昭和20年9月10日現在)

道府県名	被災診療所数(A) (*)	昭和18年末、診療所数(B) (**)	被災率% A/B
北海道	10	804	1.2
青森	8	350	2.2
岩手	0	363	0
宮城	0	406	0
秋田	47	419	11.2
山形	20	640	3.1
福島	322	1211	26.5
茨城	62	381	16.2
栃木	88	325	27.0
群馬	71	296	23.9
埼玉	94	588	15.9
千葉	155	865	17.9
東京都	0	281	0
神奈川県	0	1148	0
新潟	2118	2622	35.3
富山	0	239	0
石川	79	489	16.1
福井	0	197	0
山梨	214	1162	18.4
長野	54	311	17.3
岐阜	48	363	13.2
静岡県	29	261	11.1
愛知県	0	407	0
三重	166	626	26.5
京都	35	685	5.1
大阪	0	360	0
兵庫県			
奈良			
和歌山			
鳥取			
岡山			
広島			
山口			
徳島			
香川			
愛媛			
高松			
福岡			
佐賀			
長門			
熊本			
大分			
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
合計	3620	15799	22.9

\*被災状況および昭和18年度診療所数が届けられた府県のみ記載、他はいずれかが未届府県  
\*\*厚生省「衛生年報」昭和16年〜20年版、昭和19、20年は未集約

**\*病院から追い出された一般入院患者**  
また、病院の被災で、少なくとも五万人の患者が病院から追い出されている(表二)。

民は病気になつても入院しにくくなつていた上に、この病院の被災で、ますます入院治療など不可能になつていったのである。

従来一般患者を診察、入院させていた日赤病院は、当時全国に三十六病院があつた。しかし一九三七年からの陸軍大臣による「戦時補助」命令で、三十二病院(二万四千七百八十床)が「軍病院」となり、一般国民の診療は除外された。また、結核療養所(当時約六万床)も戦争に進むにつれ、軍事保護院(一九三八年)の所管となり、傷病軍人病院となつていった。したがって、このように戦争末期には、一般国

「引用文献」

(1)金沢市医師会編「金沢市医師会七十年史」、金沢市医師会発行、昭和34年4月。

(2)滋賀県医師会編「滋賀県医師会七十年史」、滋賀県医師会発行、462、464頁。

(3)長崎県医師会編「長崎県医師会史」第1巻、1208頁、平成10年11月。

# 県内病院の 地域医療連携室を訪ねて

## 第7回 金沢市立病院

(金沢市平和町3丁目7番3号 TEL:076-245-2600(代)  
http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/

# 医療の基本は地域社会 住民・地域の生活の場として

取材記事 医療福祉部取材班



金沢市立病院の正面玄関



金沢市立病院の地域連携室の皆さん(左手)に  
対応していただき取材はすすめられた



広々とした待合室ロビー



様々な作品が待合室ロビーに彩りを添える

今回は、金沢市立病院におじゃましました。金沢市内の公立病院では、県立中央病院、金沢医療センターに続く三カ所目の訪問でした。地域連携室長の高桑先生、中西看護部副部長、坂本看護師長、当間看護師、小林MSW、事務局の北野さんに対応していただきま

した。取材した印象を一言で言うと、「地域に出かけていく姿勢で、地道に地域医療連携をしている病院だな」というものでした。取材の前に、ホームページの「地域連携室」を見ま

すと、「医療の基本は地域社会であり、病院は地域社会を支えるとともに、地域社会に支えられる病院である必要がある。そこで、当院では、新しいタイプの地域連携型病院「住民・地域の生活の場としての病院」を病院の使命とし、種々の取り組みを行って「新しい」とありました。この新しいタイプの地域連携型病院はまだ発展途上のようですが、現在行われている具

体的な取り組みが当日示されました。①診療所には管理栄養士がほとんどいない中で、診療所の患者さんを対象に市立病院の管理栄養士が栄養教室を開催しています。診療報酬は算定できませんが業務として位置づけ実施しているとのこと。②公民館などで、住民対象の健康教室を医師・看護師

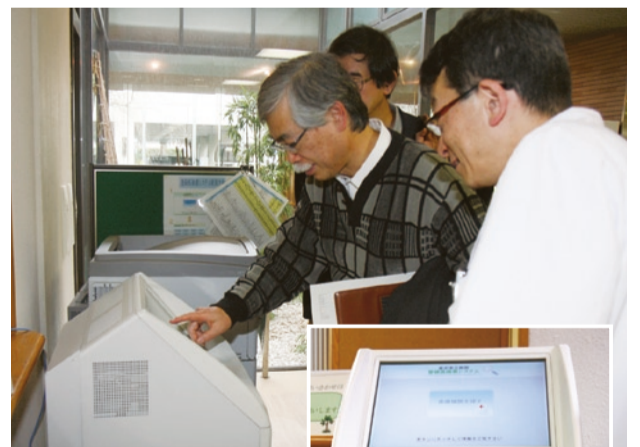
③二〇一〇年度では、登録医数は百五十四人とのことですが、登録医を対象に「オープンクリニック」を二カ月に一度開催しています。④地域連携室の前にタッチパネル式の登録医紹介コーナーを設置しており、患者さん自ら自分の住所の近くにはどういった病院があるのか簡単に分かり、さらにその病院のパンフレットの印刷も可能になりました。取材班も実際に操作してみました。取材班も簡単にできました。

⑤高齢者施設からの誤嚥性肺炎などによる入院が多くなっている中、施設からの入院受け入れ、施設と病院との間で患者さんの入院の受け渡しやスムーズに進むように、高齢者施設との話し合いの場を持つています。急性期病院から高齢者施設への退院が今後ますます増加していくと予想されています。患者さんのためにもきめ細かな連携は必須だと思

いました。⑥登録医総会を年に一回開催しています。⑦地域連携室長の高桑先生を筆頭に、新任の医師らが地域の診療所や、新規開院の診療所の訪問を行っています。地域連携室は、統計的資料をきちんと年次報告としてまとめられていました。紹介率は、この三年間は五〇%前半で、逆紹介は二五%から三九%まで増加しています。開放病床退院マップをすかさず見せてくださいました。対応してくださった事務の方は、金沢市の介護認定審査会総会や委員長連絡会でお見かけした元市介護保険課の方で、三年前に病院に異動されたとのこと。最後に院内を見学。金沢美術工芸大学と協力したホスピタリティー・アート・プロジェクトによる作品や、写真パネルなどが展示してあり、少し文化的な香りに触れて、取材が終わりました。



地域連携室にはお馴染みの「病院マップ」が



地域連携室前に設置されている登録医検索システムで、タッチパネル式により患者さんが自分の住所の近くにはどういった病院があるのか簡単に分かり、さらにその一部も印刷できるようになっている





### リレー・エッセー 在宅医療

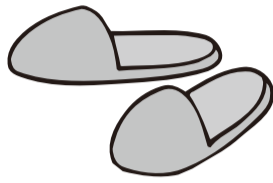
## 上履きはどこうする？ 足の裏に感じた違和感

訪問診療のエピソード・その53

大川 義弘(金沢市・内科)

訪問診療に出かけるときは、当然靴を履いていきますが、患者さんの所へ着くと靴を脱ぎます。その後は、靴下のままで上がる(裸足のことは無い)か、用意されたスリッパを履くか、マイスリッパを履くか、靴を脱がずに上がるかの四通りがあります。今回は訪問診療時、足の裏に感じた違和感のお話です。

一番多いのは、靴下のままで上がるのですが、困ったことが起きることがあります。Aさんは、いつもとはなく閉じこもりになり、歩行障害や失禁も出てきて、家族は何とかしなければと思ったのですが、本人は病院に行くのは絶対にいやだと言いました。



訪問診療の車に戻り、予備の靴下に履き替えます。また、あるお宅に伺ったときのことで、きちりとスリッパを用意してくださったのですが、履くと水分を感じます。これは、家人がきれいにしてくださった結果だろうと思いましたが、つまり水道水です。患者さんが寝ている部屋は、自分でおむつ交換をするために大便がカーペットに着いていたりするの

で、そのま

けにはいきません。湿り気を感じながら診察します。二週間後に再び訪問したときは、スリッパを履くのをためらいました。が、そつと履いて体重を徐々にかけ、湿り気を感じないことを確認したのち、全体重をかけました。

土と同様、砂と小石でざらざらしています。家の外も中も、同じような感じですが、一瞬、靴のまま上がっても同じだなと思ってしまいました。お手製のスリッパを差し出してくれます。足形に切った薄ボール紙に、両面テープをつけてあります。それを靴下にうまく貼ってから上がります。ボール紙を通して小石を踏む感じや砂のざらざらした感じがします。

最後の、靴を脱がずに上がることはありません。ある有料老人ホームでは、お部屋までは靴のまま行きませんが、部屋の中は靴を脱ぎます。

### 第23回 全国保険医 写真展 作品募集します

開催期間 2012年7/10(火)~7/16(月・祝)

●主な募集要項等

応募期間/2012年4月2日(月)~4月30日(月)

応募規格/半切またはA3判サイズのいずれか  
組写真も可(1組3枚まで)  
カラー・モノクロどちらでも可

テーマは以下の2つ  
①自由テーマ  
②個別テーマ「絆」

応募資格/会員とその家族・従業員、協会(医会)事務局長  
他の写真展に応募している(あるいは応募した)作品の応募はできません。

出展料/2,000円(返却を希望される方は、梱包・発送料が別途かかります。)  
※詳しい募集要項と応募用紙は『月刊保団連』2月号の61、62ページをご覧ください。

主催 全国保険医団体連合会

### 「2011年3月11日」を忘れない!

医療・福祉問題研究会 第107回例会

## 新たな福祉国家を展望する

一福祉国家と基本法研究会の取り組み一

講師 井上英夫さん(金沢大学地域創造学類教授)

日時 2012年4月1日(日) 午後1時30分~4時

場所 金沢市松ヶ枝福祉館 4階 集会室  
(金沢市高岡町7-25 電話076-231-3571)

主催:医療・福祉問題研究会 後援:石川県社会保障推進協議会  
〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室  
ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>

## 働き盛りの先生にお勧めします!

# グループ保険

5/14(月)から普及開始

会員同士が支えあう生命保険です

保障例 38歳の男性の場合:月払概算掛金5,960円で4,000万円の保障  
38歳の女性の場合:月払概算掛金4,600円で4,000万円の保障

■普及期間 2012年5月14日(月)~6月15日(金)

■グループ保険の主な特長

- お手頃な掛金で大きな保障
- 保険金の受取方法が選択可能(一時金または年金)
- 1年更新で、毎年保険金の見直しが可能
- 剰余金があれば配当金として還元
- 告知書扱いで手続きは簡単

■死亡・高度障害保険金額 会員は4,000万円、配偶者は1,000万円、子どもは400万円まで加入できます

■加入資格 保険医協会会員で、申込日現在、健康で正常に就業している65歳6ヵ月までの方(配偶者・子どもも併せて加入できます)

■更新日 2012年8月1日/掛金の振替は7月25日(水)から開始

○キャンペーン期間中は、太陽生命・富国生命・明治安田生命の担当者が会員のみなさまを訪問させていただきます。ご面談くださいますようお願い申し上げます。

○お問合せは…石川県保険医協会まで  
TEL:076-222-5373/FAX:076-231-5156 ※詳細につきましてはパンフレットをご請求ください。

太陽-勤補-団-23-151





140人の会員、医療スタッフ、一般市民の方々が参加して開かれた定期総会記念講演 (2月19日・ホテル金沢)

シリーズ 原発・いのち・みらい その8

信頼できない政府のウソと 内部被ばくの真実に触れて

『放射線の健康影響』 講師 矢ヶ崎克馬

理事 斉藤 典才 (金沢市・外科)

今年の定期総会記念講演は、私たちが昨年から取り組んでいる「原発・いのち・みらい」シリーズの第四回として、琉球大学名誉教授の矢ヶ崎克馬先生をお招きし、二月十九日、ホテル金沢において開催しました。会場は一般市民の参加者も合わせて百四十人で満員となり、真実を知りたいという思いからくる熱気に包まれていました。

講演内容については、放射線の人体に対する影響の理論的根拠に始まり、疫学的研究、原子力ムラの問題、食や居住環境における放射能汚染の問題など大変多岐にわたります。ここではその一部を紹介するにとどめ、詳しくは矢ヶ崎克馬著『隠された被曝』(新日本出版社)をお読みいただきたいと思えます。

納得のいかない返戻、査定は 『保険審査通信』 でお知らせください。 「保険審査通信」は、納得のいかない返戻や査定があった場合に会員医療機関からお知らせいただき、保険医協会が「石川保険医新聞」を通してコメントを掲載しています。

被ばく証言を聴く会と Nuclear Abolition Day 第3回核兵器廃絶国際行動デー 第25回石川反核医師の会総会記念企画 ナターシャ・グジー コンサート



◇ナターシャ・グジー (歌手・バンドゥーラ奏者) ウクライナ生まれ。ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドゥーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

反核医師の会では現在、石川県内の小中学校に漫画「はだしのゲン」を寄贈する運動に取り組んでいます。チケットの収益金は、「はだしのゲン寄贈募金」としてつかわせていただきます。

この催しは、地球上のすべての命を守り、子どもたちに豊かな地球を引き継ぐため 核兵器禁止条約の制定をめざすことを目的に企画しています 主催/問合せ先：核戦争を防止する石川医師の会 (略称 石川反核医師の会) http://ippnw-ishikawa.jp/ 〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-8-23 太陽生命金沢ビル 8階 石川県保険医協会内 TEL 076 (222) 5373 FAX 076 (231) 5156

会員リレーエッセー ◆◆150◆◆

なるほど・・・

『東大話法』だったのか

喜多 徹 (野々市市・内科)

福島第一原発事故から、はや一年。事故の深刻さは、想像を絶する。振り返るに、あの事故の直後、テレビに解説者として出演した東大工学部の原子力の専門家と称する方々は、「メルトダウンはあり得ず、圧力容器が壊れることはない」と繰り返していた。彼らの言語体系は、一体どうなっているのか？

さいとうのりとし 齊藤典才医師の 12回シリーズ キューバ視察

【第12回(最終回・前編)】 「連帯」についての考察(前編)

齊藤 典才 (金沢市・外科)



右がガイドのササーナさん、左がラテンアメリカ医科大学のダルミス先生

私はキューバ視察に出発する前に、「連帯」という言葉に大変興味を惹かれていました。日本では労働組合が弱いこともあり、今更

は、「連帯」という言葉が、たくさん聞かれ、キューバでは「連帯」という概念が深く社会の中に根付いているような印象でした。



ヘミングウェイ行きつけのバー



ヘミングウェイが好んでいた席に座る筆者

れまでの死者は十五人で、十六人に骨髄移植を行ったそうです。このことに関し

て被曝した子どもたちを無視はできません。それが革命や国際的連帯の基本だからです。『世界がキューバ医療を手本にするわけ』(吉田太郎著 百五十六頁)

て、子どもの教育があり、吉田太郎著『世界がキューバの高学力に注目するわけ』(六十六頁)に紹介されている話です。『一般的にキューバはラテンアメリカで、スローな国で誰

もが平等で競争がない地上の楽園をイメージしがちだが、この視察旅行で、「連帯」の意味を知りたかった私

原稿募集中 趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

SUDOKU

Sudoku grid with numbers and empty cells.

数独

二重枠(2つあります)に入った数字の合計はいくつになるでしょう。

【ルール】

- ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
②タテ列(9列あります)、ヨコ列(9列あります)、太線で囲まれた3x3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つあります)のどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

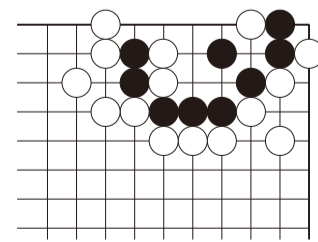
(答え2面)

パズル制作/ニコリ

碁 初級編

■出題 九段 石榑郁郎

黒先 7分で1,2級以上 (ヒント) 一手目の好手から二眼を作ります。



(解答は2面にあります)

将棋

初級編

■出題 九段 西村一義

Shogi board diagram showing a position.

(ヒント) 桂の活用はどこか……。 10分で3級

(解答は2面にあります)